

2017 年 1 月から 2021 年 12 月までに当院で

大腿骨転子部骨折に対して手術を受けた患者様へ

「日本人高齢患者における手術加療を受けた大腿骨転子部骨折の 1 年死亡率と危険因子の検討」

臨床研究へのご協力をお願い

1. はじめに

大腿骨転子部骨折は高齢者に多く起こる骨折であり、高齢化社会において増加の一途を辿っております。大腿骨転子部骨折は歩行能力低下や寝たきりによる廃用障害、内科疾患罹患率の上昇など致命的な結果に至ることが少なくないため、手術加療の介入による除痛と早期離床が治療スタンダードとしてガイドライン上も推奨されていますが、死亡率の高さは依然として問題視されています。

2. 研究の目的

手術治療を受けた大腿骨転子部骨折患者の 1 年死亡率とその危険因子を明らかにすることは、生存率の向上につながるため、大きな意義がありますが、日本の高齢者集団における研究は非常に少ない状況です。本研究の目的は、日本人高齢患者における手術加療を受けた大腿骨転子部骨折患者の 1 年死亡率とその危険因子を後ろ向きに解析することです。

3. 研究の方法

この研究では、みなさまのカルテ等に記載されている情報（手術時年齢、身長体重などの患者情報、使用インプラント、手術までの待機日数、死亡日時など）を、研究に使用させていただきます。

データは匿名化して解析しますので、個人情報には確実に保護いたします。この研究は手術を行う際に施行する通常検査のデータを活用するもので、追加検査

をお願いすることはありません。

解析結果は、学会や論文等で発表する予定です。発表する際には、データは個人情報とは完全に分離した形で扱い、個人情報は含まれず患者様やご家族の個人が特定されることもありません。また他の研究への利用もありません。この研究のために使われる患者様・ご家族の情報は全て、本研究の最終の公表をされた日から 5 年経過後、適切に廃棄いたします。

4. 研究組織

研究責任者	東京都健康長寿医療センター	整形外科	部長	宮崎 剛
研究分担者	東京都健康長寿医療センター	整形外科		金子 泰三
	東京都健康長寿医療センター	整形外科		時村 文秋

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

所在地 〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

電話番号 03-3964-1141 (代表) 受付日時：平日 9 時～17 時

研究担当者：整形外科	時村 文秋
整形外科	金子 泰三